

日本学術会議 地球惑星科学企画分科会（第 25 期・第 5 回）議事録

1. 日時 令和 3 年 10 月 20 日（水）17：00～19：25

2. 会場 遠隔会議（主催会場：東京大学）

3. 出席

委員：沖大幹、三枝信子、佐竹健治、田近英一、中村卓司、西弘嗣、春山成子、堀利栄

4. 議題等

（1）前回議事録確認

（2）地球惑星科学分野の大型研究計画について

（3）その他

3-1 地球惑星科学委員会の議題について

3-2 学協会長等会議での報告事項について

3-3 日本地球惑星科学連合 2022 年大会ユニオンセッション提案について

3-4 小委員会について

3-5 提言について

3-6 IYBSSD2022 について

3-7 その他

5. 配布資料

資料 1：日本学術会議 地球惑星科学企画分科会（第 25 期・第 4 回）議事録

資料 2：第 25 期地球惑星科学分野大型研究計画タイムスケジュール

資料 3-1：地球惑星科学委員会（第 24 期・第 4 回）及び地球・惑星圏分科会（第 24 期・第 3 回）議題

資料 3-2：日本地球惑星科学連合 2022 年大会ユニオンセッション

資料 3-3：第 25 期日本学術会議地球惑星科学委員会組織図

資料 3-4：日本学術会議に置かれている会議数（第 25 期）

資料 3-5：科学的助言機能・「提言」等の在り方の見直しについて

6. 議事内容

（1）前回議事録確認

資料 1 により前回議事録が紹介され、内容が確認された。

（2）大型研究計画ヒアリングについて

田近委員長より、学術会議の大型研究計画策定に関わる近況として、マスタープランの策定は現時点で白紙の状況であるとの報告がなされた。また、中村委員より資料 2 に添って第 25 期地球惑星科学分野の大型研究計画のタイムスケジュールの案が報告された。議論の結果、日本地球惑星科学連合 2022 年大会にユニオンセッションを提案し、地球惑星科学分野における大型研究計画について議論する場を確保することにした。

（3）その他

3-1 地球惑星科学委員会の議題について

12月に開催する地球惑星科学委員会の議題として、委員会・分科会の活動報告、地球惑星科学分野における大型研究計画の検討、日本学術会議の今後の在り方等について議論してはどうかという意見が出された。

### 3-2 学協会長等会議（11月29日開催予定）での報告事項について

田近委員から、学協会長等会議の現状と地球惑星科学委員会との関係等について報告がなされた。学術会議と学協会連携の在り方に関して学協会から意見をもらってはどうか、ということになった。

### 3-3 日本地球惑星科学連合2022年大会ユニオンセッション提案について

地球惑星科学分野における大型研究計画について議論するユニオンセッションの提案を行うこととした。

### 3-4 小委員会について

地球惑星科学委員会に設置されている国際対応の小委員会の数が多すぎるという指摘があり、何らかの回答を行う必要がある。国際対応の小委員会は個々の委員会の下におかず、一つにまとめて別の組織にしてはどうかという意見もある。また、小委員会には学術会議から旅費や手当が支給されないにもかかわらずボランティアベースで活発に働いてもらっているのが現状であり、小委員会をなくしてしまえば実態としての活動がなくなってしまうという意見もあった。一方で、学術会議の事務局にとっては小委員会の設置や委員会開催支援の負担がかなり大きいのではないかという意見もあった。小委員会委員長の立場からすると、国際活動を推進する上で日本のNational Committeeの委員長であるというオーソライズはどうしても必要であるという実態も報告された。小委員会の在り方については、第26期に向けて検討を続ける必要がある。

### 3-5 提言について

現在検討されている「提言」や「見解」のまとめ方やこれまでの経緯について意見交換を行った。

### 3-6 IYBSSD2022について

佐竹委員から、IYBSSD2022の開催及び連絡会議の準備状況について報告があった。

### 3-7 その他

西委員から2024年の韓国開催に向けて準備を進めている国際地質学会議（IGC）について報告があった。IGCの大会では韓国が日本と協力して巡検を行うことを希望しているが、日本側が提出した文書における地名が勝手に書き換えられたり、領土に関わる係争地で巡検を行う等の提案が出されるなど、外交上の問題に発展する恐れのある状況が予想されている。韓国側の動きによっては日本側から公式に抗議する必要があるという現状について情報が共有された。

10月に開催された国際学術会議総会において、財務担当の副会長として白波瀬佐和子氏が新たに任命された。また、次期会長として小谷元子氏が選出された。春山委員からは、今回選出されたお二方と学術会議の国際活動（とくに地球惑星科学分野の国際活動）に関し情報交流する機会をつくる必要があるのではないかという意見が出され、春山委員、佐竹委員、三枝委員で別の機会を設けて検討することとした。

以上